

【学位論文発表会】

日本におけるニワトリ文化史 の研究 一品種論を中心に

発表者：松尾 雄二（生物圏科学研究科）

日 時：令和4年2月7日(月) 15:00～16:00

場 所：Microsoft Teamsによるオンライン公聴会

コンピューターまたはモバイル アプリで参加できます
[会議に参加するにはここをクリックしてください](#)

日本鶏品種の成立過程・時期を明らかにするために、内外の古文献および古絵画に基づく調査を行った。弥生時代以降の我が国へのニワトリそのものの導入や漢字「雞・鷄」の導入に関する調査、ならびに「にはとり」の呼称の成立過程の調査を行った。その結果に基づき、ニワトリの形態等を日本人がいつ、どのように認識したのかを明らかにした上で、日本鶏のうち国の天然記念物に指定されている土佐のオナガドリ、東天紅鶏、小国鶏、蜀鶏、軍鶏、地鶏、蓑曳鶏、矮鶏および烏骨鶏について、品種化の過程を調査した。本会では、その成果の発表を行う。

本発表会は、統合生命科学研究科の共同セミナー対象です。

問い合わせ先：

都築 政起 (082-424-7950) tsudzuki@hiroshima-u.ac.jp